科目基礎 科目番号 受業形態 開設学科 開設期 教科書/教林 担当教員 到達目標	情報	0126	•		•						
受業形態 開設学科 開設期 教科書/教材 担当教員 到達目標 コンピュー		0126									
開設学科 開設期 教科書/教材 担当教員 到達目標 コンピュー		以目番号 0126 <u>0126</u>				科目区分		専門 / 必修			
開設期 教科書/教材 旦当教員 到達目標 コンピュー		授業			単位の種別と単位数		立数	学修単位: 1			
数科書/教材 単当教員 到達目標 コンピュー		制御情報	江学科	ļ		対象学年		4			
当教員 別達目標 コンピュー		前期			週時間数			1			
到達目標]ンピュー	科書/教材 「情報科学とコンピュータ」 竹田・					田 千代子, 浜田 直道(日本理工出版会)					
コンピュー		脇山 正博									
コンピュー	[
青報通信ネ	タシステムットワーク	ムの概念と特	好徴にて	を説明できる いて説明でき 語を説明でき	きる。						
レーブリ	ック		T			I.=			T		
			理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安			未到達レベルの目安		
コンピュータのハードウェア概念の音味				ンビュータの ついて十分に	ハードウェア概念 説明できる	コンピュータのハードウェア概念 について説明できる			コンピュータのハードウェア概念について説明できない		
の意味 評価項目2			10.	2010 1 2010	mm CCの	について説明できる			について説明できない		
<u>F166項日2</u> P価項目3											
	·辛口·梅花	ロレの問	1/7								
		目との関	11計								
数育方法 概要	等	計算機のる目的と	主要な する。	株成要素の	構造や仕組み等、八・	-ドウェアの基本概	穏や計	算機システ	ムについて	の基本概念の)理解を主力
受業の進め	方・方法	毎週OHF 座学の講	を用い 義とそ	いたe-Learnir の演習が基本 ポートを課す	ng 方式で行う。 kであり、毎週課題 [:]	テストを課す。					
主意点					。 っての小テストをWe	 eb形式で毎调行う	ので. 1	必ず講義内容	字について	予習・復習を	<u></u> 行うこと。
受業計画		12122W C 13		2. 10 10 101			1	M122()]	v · C		
		週	授業内				油ブレ	の到達日煙			
					↑ TII EI		週ごとの到達目標			中について明	かナフ
		1週		<u>ニュータとその</u> ニ キ ロ	り利用		コンピュータの概要とその歴史について理解する。				
	1stQ	2週	データ				2進数体系や基数変換について理解する。 2進数体系や基数変換について理解する。				
		3週	データ								
		4週		<u> ユータの論</u>			基本論理回路について理解する。				
		5週	t	ュータの論理	埋凹路		基本論理回路について理解する。				
		6週	主記憶					記憶装置について理解する。			
		7週	主記憶装置				主記憶装置について理解する。				
前期		8週	前期中間試験								
נאני	2ndQ	9週	中央処	理装置		中央処理装置の概要と命令			要と命令に	こついて理解する。	
		10週 中央処		中処理装置			中央処理装置の概要と命令について理解する。				
		11週 補助語		記憶装置		補助記憶装置の概要と容量計算について理解する。					
		12週 補助詞		2億装置		補助記憶装置の概要と容量計算について理解する。					
		13週 入出力		出力装置			コンピュータシステムについて理解する。				
]装置		コンピュータシステムにつ		テムについ	いて理解する。		
		15週	通信ネットワーク				データ通信システムについて理解する。				
		16週	前期定	E期試験							
Eデルコ	アカリキ	ユラムの)学習[内容と到達							
<u></u> - }類		分野		学習内容	学習内容の到達目					到達レベル	授業週
				T	変数とデータ型の概念を説明できる。				3		
				う野 プログラミ ング	代入や演算子の概念を理解し、式を記述できる。				3		
					制御構造の概念を理解し、条件分岐や反復処理を記述できる。				 ごきる。	3	
					プロシージャ(または、関数、サブルーチンなど)の概念を理解し						
専門的能力					、これらを含むプログラムを記述できる。 与えられた問題に対して、それを解決するためのソースプログラ				3		
	分野別の 門工学	専 情報系統	· 分野		<u>ムを記述できる。</u> ソフトウェア生成に必要なツールを使い、ソースプログラムをロ ードモジュールに変換して実行できる。			3			
	1,177				主要な言語処理プロセッサの種類と特徴を説明できる。			2			
					ソフトウェア開発に利用する標準的なツールの種類と機能を説明 できる。				2		
					プログラミング言語は計算モデルによって分類されることを説明できる。				2		
					できる。				2		
					主要な計算モデルを説明できる。				51 t= -	_	
					要求仕様に従って、標準的な手法により実行効率を考慮したプログラムを設計できる。				ョレにノロ	3	
平価割合					1. 2 - CEXII CC					1	1
	記馬		,1,-	テスト・レポ	相互評価						

総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	30	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0